

知っておきたい！ お金の話

進学を考える時、避けて通れないのが「お金」の問題。受験料、入学金、授業料、交通費、自宅外なら生活費および新生活用の鍋・釜・お櫃・玉杓子。さまざまな費用が必要です。いったいどれくらいかかるものなのでしょうか。

まずは受験料などなど

国公立大学	センター試験（3教科以上）	17000円（2次試験標準）
私立大学	18000円	平均35000円
専門学校	平均20000円	

進学するためのまず最初の出費は受験のための費用です。受験料はおおよそ左表のようになっていますが、受験の仕方によっていろいろ異なってきます。具体的には次のようになります。

国公立前後期と私大四校受験の場合		私大（短大）を六校受験の場合		私大四校と専門学校を二校受験の場合	
センター試験	18000円	センター試験	18000円	金城学院大一般	35000円
国立大前期の受験料	17000円	桜花学園大センター利用	20000円	愛知淑徳大一般A	35000円
国立大後期の受験料	17000円	椙山女学園大一般	35000円	愛知淑徳大一般B	10000円
愛知工業大学前期A方式	35000円	椙山女学園大一般・別日程	10000円	愛知さわみ短大	30000円
愛知工業大学前Aの併願	20000円	一宮女子短期大学一般	30000円	日福中央福祉専門学校	20000円
名城大学一般A方式	35000円	一宮女子短大センター利用	15000円	県立歯科衛生専門学校	44000円
名城大学センター利用	20000円	南山大学一般	35000円		
合計	162000円	合計	163000円	合計	134400円

大学によっては併願など別日程の受験料はで割引になることが多いようです。そして、実際の受験にはこれに加えて、出願書類に貼る写真だの、郵送のための費用（書留や速達料金）も加算されるうえ、試験会場までの交通費もかかってきます。地方（東京なども）へ移動しての受験なら、交通費に加えて宿泊費や滞在費などもさらにかさむことになります。

学校に納める金額の違いは？

めでたく「合格」し、入学の資格をゲットしたとたん、まずは手付金にあたる「入学金」というのを払うことになります。そして、前期（大学はひと月ごとの授業料ではなく前期と後期の2回に分けて払います）の授業料の納入という運びになります。学校によっては入学金と同時に前期納入金も払うシステムのところもあります。入学を辞退した場合、前期の授業料などは返却されますが、入学金は戻りません。一般的に次のようになっています。

		入学金	授業料	施設設備	その他	1年目に必要な金額
大学	国立	282,000	535,800			817,800
	私立	275,924	1,012,251	209,921		1,498,096
専門学校平均		201,000	668,000	194,000	284,000	1,228,000

私立や専門学校は平均なので、次に具体的な学校で比較してみましょう。たとえば.....。

	例えば.....	入学金	授業料	その他	1年目に納入する額
公	滋賀県立大学・県外者	423,000	535,800	50,000	1,008,800
私	中京大学・法	200,000	725,000	225,100	1,150,100
私	名城大学・理工	260,000	920,000	310,000	1,490,000
私	金城学院大学・薬	200,000	1,580,000	407,900	2,187,900
私	一宮女子短期大学	360,000	660,000	350,000	1,370,000
私	愛知さわみ看護短大	200,000	500,000	800,000	1,500,000
専	愛知県立総合看護専門学校	5,650	115,200	180,000	300,850
専	岐阜美容専門学校	100,000	288,000	714,000	1,012,000

大学いろいろ、学費もいろいろといった感じです。「その他」というのは、「教育充実費」「施設費」「実験実習費」「会費」などの名目の徴収金です。そして、この他にも教科書やユニフォーム代などで100,000円弱くらいはかかるようです。次は生活にはどれくらいの金額がかかるのでしょうか。

大学生の生活をのぞいてみると.....

熊本大学・理学部のAさん

収入		支出	
奨学金	51000	食費	30000
アルバイト	40000	家賃	11000
		その他	20000
計	91000円	計	61000円

2年生のAさんは長崎県出身。キャンパスから1.5km離れた寮で生活している。全室個室で広さは10㎡で、トイレや風呂は共用。また、食堂の設備はないため、自炊またはキャンパス内の学生食堂を利用しているということです。残ったお金はいざと言うときのために貯金だそうです。

明治大学・農学部のBさん

収入		支出	
奨学金	63000	食費	28000
アルバイト	20000	家賃	55000
仕送り	95000	その他	75000
計	178000円	計	178000円

Bさんは三重県出身の4年生。キャンパスがあるのは東京都杉並区、物価はちょっと高そう。支出のうち、その他の内容はわからないが、何か習い事しているのか？あるいは貯金を含むのか？

名城大学・理工学部のCさん

収入		支出	
仕送り	130000	食費	30000
アルバイト	適宜	家賃	50000
		その他	14500
計	130000円	計	94500円

キャンパスまで自転車で5分のアパートに住むCさんはもちろん交通費はゼロ。街で配られるポケットティッシュも貯めて使う節約ぶり。支出のその他に書籍代が計上されていないのがちょっと残念？仕送りは親の大きな負担だろう。

2 年学年通信（保護者会版）

以上の3人の例はいずれも各大学の『大学案内』から抜粋したものです（コメントは別）が、一口に大学生といっても実にさまざま。どのような生活をするかにもよりますが、学生たるもの勉学に支障をきたすような住環境や食生活でも困ります。こういった工夫があるのでしょうか。AさんBさんCさん三人の支出をみてください。Aさんの家賃がダントツにお得なのがおわかりだと思います。まず親元を離れて大学生活をおくるなら、まず寮のチェックを忘れずにしましょう。多くの学校が寮を持っていますが、1年生のみとか、一部の学生しか利用できない学校が多いようです。また、収容人員の都合から、入寮者の審査をするところもあります。その家賃や仕様はまちまちですから、各大学に問い合わせるとよいと思います。

家賃だけではない生活

左の表は全国大学生生活協同組合連合会発行の「学生の消費生活に関する実態調査」からの抜粋です。あくまで平均をとってあるので、中途半端な数

	自宅通学生	自宅外通学
食費	11,950	25,090
住居費	180	55,920
交通費	10,080	3,230
教育娯楽費	8,400	9,480
書籍費	2,320	2,570
勉学費	1,560	1,880
日常費	7,890	9,080
電話代	4,110	5,860
その他	2,760	3,130
貯金・繰越金	9,520	9,810
合計	58,790	126,060

字が出ていたり、自宅から通学しているのに住居費が算出されていたりしますが、そこは参考程度にごらんいただきたい。生活するという事は、思った以上になにかと出費がかかるもの。自宅生と自宅外生とであきらかに違うのが住居費と食費ですが、自宅外と一口に言っても、東京と田舎（誤解があると困るが大学が設置されているのは田舎ではなく地方都市ダ）では、物価が違います。例えば右上の表をごらんください。「レオパレス 21」という賃貸ワンルームマンションの家賃の比較です。物件によってまちまちなので、バス・トイレ付きの家具付き、いわゆるレオパレスのスタンダードな部屋で比較してみました。東京も山の手線付近となるととても手のでない額になっています。郊外へ出れば家賃は安いけれど交通費にお金がかかってきます。地方の大学なら、学校の近くの部屋をかりれば一石二鳥ということに。また、交通費は自宅生の方がかかっているように、下宿すればチャリンコ通学なども可能だから安くあがります。自宅・自宅外いずれにしても、新生活を始めようと思えばそれなりの出費がかかるものです。

東京・渋谷区（都心）	20.28㎡	103000円
東京・清瀬市（郊外）	20.37㎡	48700円
高知市（地方都市）	26.49㎡	37100円

知っておきたいサポートシステム

親のスネより「奨学金」

なにかとお金のかかる新生活、こでの強い味方が奨学金です。奨学金とは、奨学制度によって貸与または給与される学資金のことです。在学中に学資金を借り、卒業後に返済していくのが「貸与制度」、返済しなくてもよいのが「給付制度」です。貸与か給付かは、それぞれの奨学金制度によって違います。貸与制度でも、無利子や低い利子で借りられる上、無理なく返済ができるようになっています。この奨学金を利用している人は増える一方で、年間奨学金の総額も増加しています。表面の熊本大学のAさんや明治大学のBさんも利用しています。この奨学金というしくみ、いろんな奨学金制度がありますが、国の資金による奨学金事業は、「独立行政法人日本学生支援機構」が行っている奨学金です。かつては「日本育英会」の名で親しまれていました。この奨学金を利用している学生は多く、例えば香川大学（国立）では教育学部947人中368人がこの奨学金のお世話になっています。日本学生支援機構のしくみは次のようです。

日本学生支援機構

……「予約採用」の申し込みは、高校3年の春におこなわれます。注意しておいてください。

種別	月 額		学 力	返還総額	返還期間（年）		
第一種（無利子）	国公立の（4大・短大・専門）	自宅通学者	高校の成績が3.5以上の者	45,000円	2,160,000円	14	
		自宅外通学者		51,000円	2,448,000円	15	
	私立大学	自宅通学者		54,000円	2,592,000円	15	
		自宅外通学者		64,000円	3,072,000円	18	
	私立専門学校	自宅通学者		高校の成績が3.2以上の者	53,000円	1,908,000円	13
		自宅外通学者			60,000円	2,160,000円	14
第二種（有利子）	3万円・5万円・8万円・10万円から選択			利率を選択できる	13～20		

学校独自の奨学金や特待生

愛知工業大学	選抜奨学生制度	入試の合格者の中から成績上位の者	授業料の半額
	成績優秀奨学金制度	成績優秀な場合次年度に支給	月額5万円
名城大学	学業優秀奨学生	3・4年次に前年の成績優秀者	年20万円
愛知学院大学	開学50周年記念奨学金制度		年30万円
	特待生制度	前年度の実績による	年30万円
近畿大学	入試成績優秀特待生（入試の成績で判定）	理工学部 4年間授業料・教育充実費免除 農学部 2年間授業料・教育充実費免除	
	近畿大学給付奨学金	年額600000円。返還は6～20年。	
中京大学	給費奨学金制度	入試の合格者の中から選抜	入学金・授業料等
	奨学金	学業成績優秀・経済的事情	授業料年額相当額
中部学院大学	がんばれ奨学金制度	学業成績優秀・経済的事情	年20～10万

大学などは、学校独自で奨学金を設置し、貸与と給付を行っています（左表、は給付、は貸与）。独自財源による育英奨学事業は国公立より私立が活発で（下表、『05年度大学等における学生生活支援の実態調査』による）私立には国公立にはない「特待生」給費

独自財源による学内の育英奨学事業を設定する学校	
国立大学	30.4%
公立大学	14.1%
私立大学	78.7%
専門学校	22.6%

生」「スカラシップ」など学校によって名称は異なりますが、成績の優秀な学生に対し、入学費用や授業料を免除したり、奨学金を支給したりする制度もあります。またこれとは別に、財団や地方公共団体が奨学生を募集する制度もあります。なお、これらの奨学金については、日本学生支援機構奨学金との併用を認めていない場合がありますから、注意が必要です。

金利の低い国の教育ローン

ある程度まとまったお金が必要なら、「教育ローン」を考えるのも一つの手でしょう。教育ローンは一般のローンに比べて、金利が低いのが特徴です。これは使い道を就学関連費用に限定しているためです。公的ローンには、国民生活金融公庫や雇用促進事業団のものがあります。ほかに、銀行、農協、労働金庫などが行う民間ローンがあります。「国の教育ローン」のケースをみてみますと、融資額は学生一人につき200万円以内、返済期間は10年以内です。在学期間内は元金の返済を据え置くことができます。つまり、在学中は金利だけを支払い、卒業後に元金を返済することが可能だということです。頼もしい援助がうけられるしくみはたくさんありますから、賢く利用したいものです。